

(要旨)

## 定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	令和4年度	回 数	第12回
日 時	令和4年12月27日	午後3時30分～4時50分	
場 所	議場(本庁舎6階)		
出 席 者	渡部市長 野崎副市長 松谷副市長 村木教育長 南部議会事務局長 平岡経営政策部長 原田経営改革・情報化担当部長 荒井総務部長 東村地域創生部長 野口市民部長 河村防災安全部長 山田防災安全部総合調整担当部長 清水環境資源循環部長 武岡健康福祉部長 瀬川子ども家庭部長 粕谷まちづくり部長 山下都市計画担当部長 田中教育部長  欠席者：なし		
次 第	1. 開会 2. 協議事項 (1) 令和4年12月定例会を振り返って (2) 令和5年度組織定数について 3. 報告事項 (1) 令和4年度第1回定期監査の結果報告について (2) 市長ダイアログ研修の実施について (3) 令和5年3月定例会提出予定案件・施政方針説明事項及び原稿提出について 4. その他 5. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		



## 1. 開会(市長あいさつ)

こんにちは。今年最後の定例の経営会議である。まず12月市議会定例会、お疲れさまでした。予定された案件も滞りなく可決いただいて、無事に令和4年も締めくくることができたと思っている。1年の振り返りは明日の臨時経営会議で申し上げたいと思うが、まず12月定例会は、議事進行が滞るようなこともなく、この間、部長をはじめ管理職の準備が整っていた結果と考えており、いくつか議員から指摘があった事項等については、次回の3月市議会定例会までに、何らかの対応を図っていただきたい。

先々週、嬉しいニュースが2つほどあった。1つは、アルヒという住宅ローンの専門の金融機関が行っている「本当に住みやすい街大賞 関東地区」で、駅を起点にしたランキングをしているが、そのランキングに東村山が第9位となったところである。昨年の新秋津に続いて、本市がランクインするのは2年連続となった。これは前回は申し上げたが、アルヒという住宅ローンの専門の金融機関なので、実際にローンを組んで物件を購入された顧客の膨大なデータをもとに、どこが一番物件が売れているかということを中心にしながら、いくつかの指標でランキングをしているというものである。「本当に」というのは、実際にどこが売れたかということが評価の対象になっている。去年は神奈川県藤沢市辻堂が1位だったが、今年は八王子市の西八王子である。今回は全体的に見ると比較的郊外部が強かったという印象を受けている。アルヒのホームページに記載があるが、連続立体交差事業やそれに合わせたまちづくりが行われているということが評価をされたということである。コロナ禍の中で2年連続ランクインしたというのは、今、東村山市は追い風傾向、この追い風をうまく活かしながら来年、再来年へと頑張っていて、良いまちづくりをして、名実ともに本当に住みたい街として常に選ばれ続けられるように努力していきたいと考えている。

その次の日、日本アニメツーリズム協会が主催をしている「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」という、これはランキングではないがアニメーション作品を88作品選んで、その聖地を選定する。選定されている場所数は、1つの作品で何か所も挙げられている場所もあるので、88の作品で120から130あったと思う。東村山市は初めて、「女子高生の無駄づかい」で聖地に選ばれた。これはアニメファン国内外での投票に基づいて選ばれており、都立東村山中央公園で行われたスタンプラリーが功を奏したと考えている。スタンプラリーは、台紙だけで約3700枚が配布され、中央公園のサービスセンター職員にお聞きをすると、北は北海道から南は九州大分県から来た方がいて、コンプリートされた方も約1200人と聞いている。アニメでのまちおこしということも、これから本市にとっては追い風になると考えているところである。

さらにNHKのニュースに取り上げられたが、今回、東京都とデータ連携の取り組みを行ったところである。これは基本的には、東京都の委託事業者であるNECから、本市がTDPFのパートナーとしてどうかのお話があった。先方で避難場所である青葉小学校、萩山小学校、化成小学校3ヶ所に、いくつかセンサーを敷設して、その傾き度合い・体育館の室温・通電状況等のセンサーのデータを、本市の都市OSのダッシュボードで把握し、データを同時に東京都の東京データプラットフォームの方に送る、そういう実証実験を行った。都道府県の都市OSと市町

市の都市 OS を、このようにデータ連携するのは日本で初めてのことでうため、NHKのニュースに取り上げられた。本市が既に基盤として都市 OS 持っていたということが、大きなきっかけになったと捉えている。

これまで地道に進めてきた取り組みも、いろんな企業や団体等に評価をいただけるというようなことがあって、年末、いくつか本市にとっては先に希望が持てるような取り組みがあったということは、本会議で共有をして、少しでも自信を持って、これからも前に向けて進んでいければと思っている。

議会の終了前から、令和 5 年度の当初予算の理事者査定を行っている。昨日の時点で乖離は縮まっているが、この乖離は埋まらなと捉えている。最終的に財源措置をするかということが課題になる。また、物価高騰等で経費が伸びている状況があり、アクションプランで経費節減の努力もしたが、ほとんど相殺され、逆に経費の方が物価上昇で伸びているという苦しい厳しい状況である。この物価上昇が令和 5 年度も続くと、令和 6 年度以降の財政見通しが立ち難いという状況である。一方で連立立体交差事業やシチズングランド取得等、いくつか大型事業があり、財政的に苦しいところである。年末にあまり良い話ではないが、共有をしながら、また来年には皆さんと、こうした財政へのかなり厳しい状況をどう乗り越えながら、未来に向けて展望を切り開いていくかについて、英知を結集していければと思っているので、よろしく願う。

## 2. 協議事項

### (1) 令和4年12月定例会を振り返って

議案審議や質疑対応等について12月定例会を振り返り、各部の所感や課題を共有した。

### (2) 令和5年度組織定数について

令和 5 年度の職員定数を 799 名とし、当該定数に基づく各部署への職員配置数について情報共有を行った。今後、調整要望の内容を精査したうえで、最終決定することを確認した。

## 3. 報告事項

### (1) 令和4年度第1回定期監査の結果報告について

監査委員より報告がなされた内容の概要及び指摘対象所管には必要な措置を講じるよう指示をしていることを情報共有する。

### (2) 市長ダイアログ研修の実施について

市長と職員との対話を通じて、将来の昇任を見据えたモチベーションの向上を図ることを目的とした研修を実施することを情報共有する。

- (3) 令和5年3月定例会提出予定案件と施政方針説明事項および原稿提出について  
議会関係資料提出日程や方法について情報共有する。

#### 4. その他

- ・首脳部会議の案件について

首脳部会議に諮る案件について、考え方を改めて確認した。

#### 5. 閉会